

災害は突然やってきます。



ニュージーランド南島のクライストチャーチでの地震被害

屋根の地震対策はお考えですか？

これまでの日本の屋根材は、美しさや趣向性が重要視されてきましたが、昨今の台風や地震などの災害により屋根の耐久性が一層注目されています。



住宅の屋根を選ぶ時のポイントは、

- 大切な屋根の災害対策を考える。
- 屋根材の素材を吟味する。
- 平板スレートの約1/3の軽さ。
- 遮音・断熱が重要。
- 雪害について対処をする。

T・ルーフならさらに、「基材保証」と「美観保証」がついてくる。

天然石付き鋼板屋根材

T・ルーフシリーズ

重要なのは「軽さ」と「固定」です。

T・ルーフなら、従来の瓦より軽く、独自の工法でしっかり固定するので丈夫な屋根が実現できます。天然石とガルバリウム鋼板でできた安心・安全なハイブリッド屋根材です。



屋根は「軽さ」と「しっかり固定する」ことが重要!

1㎡あたりわずか7kgと化粧スレートの約1/2.7の軽さで建物への負担を軽減します。家全体にかかる重力が軽いため荷重が小さく、地震の揺れを軽減できます。また家の重心が低くなることにより耐震性を高めます。インターロック工法の施工は下から吹き込む台風のような激しい風に強さを発揮します。

ポイント 1

地震

従来の重い屋根 セネター

重さ比較

	1㎡当たり重量	一棟分の重さ(100㎡)
一般的な瓦	約50kg	5.0t(象くらいの重さ)
化粧スレート	約20kg	2.0t(カバくらいの重さ)
T・ルーフ	約7kg	0.7t(キリンくらいの重さ)

ポイント 2

台風

独自のインターロック工法でしっかり固定!!

強風でめくれない 野地板に固定

風速の目安

30m/s	電柱が倒れることがある
40m/s	ブロック塀が倒れる
50m/s	木造住宅の全壊が始まる
60m/s	鉄塔が曲がることもある
70m/s	カテゴリ4並のハリケーン・強烈な台風に匹敵する

天然石なので退色せず再塗装のランニングコストが不要!

ニュージーランドの天然石を粉砕して、ガルバリウム鋼板にコーティング。自社独自開発のベースコート(接着層)で接着します。亜鉛メッキ鋼板の3~6倍の耐久性を持ちます。自然な色合いでカラーバリエーションをご用意しています。



天然石ストーンチップと空気層の効果。

屋根材表面の天然石が雨音を吸収・拡散して静かさを実現します。さらに、屋根材と下地の間に空気層があり、野地板や下葺材が劣化しにくい環境を作り出しています。屋根材裏面と野地板の空気層で遮熱効果を保ちます。

雪が落ちにくい。雪止め金具不要で意匠性UP!

屋根表面の凹凸抵抗により、雪が落ちにくい構造になっています。札幌市建築確認課より、雪止め金具と同等の効果がある屋根材として認められています。雪止め金具不要で、意匠性を高めます。



30年の材料品質保証付き。

天然石なので色褪せの心配がなく塗り替えの必要がありません。実績を重ねているので「30年の基材保証」「10年の美観保証」が付いています。

基材保証
30年

美観保証
10年

* 下地の状況により既存屋根材の撤去が必要になる場合があります。
* 屋根材の種類によっては対応できない場合があります。
* 色調については現物と異なる場合があります。現物サンプルでご確認ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで
<https://www.lixil.co.jp/>

* ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。